

こんにちわ

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団

2009.7.29号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

横浜港に米海軍イージス艦は似合わない!

米海軍横須賀基地所属のイージス駆逐艦ジョン・S・マケインが21日午前、横浜市の横浜港大さん橋国際客船ターミナルに着岸し、22日には開港150周年記念事業「海フェスタよこはま」の一環として、先着2000人に一般公開されました。

市港湾局の説明では、5月に米海軍から開港150周年のお祝いに寄港したいとの申し出があったということですが、報道によれば米軍側は市から招待を受けたとしており、最終的には双方の相談ということになったものの、一時説明に食い違いがありました。

横浜港内の米軍施設ノースドッグではなく、大さん橋を使用するのは、イージス艦の喫水と岸壁の水深の関係から。港湾局によれば、市が管理する横浜港に米海軍の軍艦が入港するのは実績上初めてのことです。

大さん橋ターミナル屋上“くじらのせなか”は艦接岸側が立ち入り禁止になり、警備員による物々しい警戒が行われました。

党市議団 市に中止要請

日本共産党横浜市議団は17日、米海軍イージス駆逐艦の横浜港大さん橋の使用許可を撤回し、「海フェスタよこはま」での市民への艦内公開を中止させるよう、市長あての申し入れを港湾局に行いました。

申し入れ後の懇談で、大貫憲夫団長は「平和な商業港である横浜港に米軍艦の寄港をなぜ許したのか。将来、横須賀基地に米軍艦が入りきれなくなって横浜港を使うための布石となる可能性はないか」と質問。

副局長は「米軍から親善と開港150周年のお祝いとして来たいとの申し出であり、軍事利用ではないため許可した」と述べ、あくまでもお祝いのためであることを強調。また、港湾局長は



物々しい警戒の米海軍・イージス駆逐艦ジョン・S・マケイン
= 7月21日横浜港大さん橋

米海軍・イージス駆逐艦ジョン・S・マケイン

横須賀を母港とする米海軍第7艦隊に所属するミサイル防衛対応艦船。

他国からの「ミサイル防衛」をかかげ、長距離警戒・追跡作戦能力を持ち、2007年11月までに、迎撃ミサイルSM3の発射能力も追加。今年6月には、大量破壊兵器を積んだ疑いがあるとされた北朝鮮貨物船を追跡していると報道されました。

「軍事目的での申し入れは断る」と述べました。

自衛隊艦船も次々と入港

Y150の一貫として、海上自衛隊の艦船も横浜港に入港しています。

すでに、護衛艦「しらゆき」が2回、「海フェスタよこはま」期間中の25・26日にはイージス艦「きりしま」と破冰船「しらせ」が入港しています。さらに9月初旬にヘリコプター搭載護衛艦「ひゅうが」が着岸予定です。

日本共産党横浜市議団は、自衛隊艦船の一般公開をやめるよう、6月29日に中田市長あてに申し入れしています。